

だい 6 課 さいがい
第6課 災害

〈この課で伝え合うこと〉

さいがい お
災害が起きたとき、どうすればいいか、どんな準備じゆんびをしておけばいいかなど、災害さいがいのときやくに役に立つ情報じようほうを伝え合つたいましょう。

あたらし ことば しら
〈新しい言葉を調べよう〉

ことば いみ しら か
☆言葉の意味を調べて、書きましよう。

さいがい 災害	お 起きる	じゆんび 準備(する)	じようほう 情報
じしん 地震	あ 遭う	ゆ 揺れる	そうい ええば
よしん 余震	つづ 続く	くず 崩れる	しとしと
だ 抱く	ひとばん 一晩	(たいへん)め (大変な)目	つら 辛い
だめ(な)	ばあい 場合	ひなん 避難(する)	ひじようよく 非常食
ひなんよう (避難)用	さっと	もだ 持ち出す	~ように
ひつよう 必要(な)	つ 詰める	あんしん 安心(な)(する)	~そうだ
かじ 火事			

つぎ ことば つか ぶん つく
☆次の言葉を使って、文を作りましよう。

1. ~目めに遭あう _____
2. さっと _____
3. 必要ひつよう(な) _____

かんが
〈考えてみよう〉

1. 地震じしんに遭あったことがありますか。
2. 地震じしんのすぐ後あとに、どんなことをすればいいですか。
3. 地震じしんが起きたときのために、どんな準備じゆんびをしておくといいですか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

キム : きのう ゆうがた ゆ
昨日の夕方、揺れましたよね。ラビンさんは、どこにいましたか。

ラビン: エレベーターにの 乗ろうと思おも っ 待っていたときでした。とてもこわ かったです。

キム : ほんとう ほんとにね。そうい えば なんねん まえ おお じしん
何年か前にネパールで大きな地震がありましたよね。

ラビン: ええ、そうです。あのときのことをおも っ だ さいしよ じしん あと よしん
思い出しました。最初の地震の後も余震が
つづ っ 続いていて、いえ くず 家が崩れそうだったので、そと で 外に出たんです。そと あめ
外は雨がしとしと降っ
ていましたが、つま ふたり 妻と二人で子どもたちをだ っ 抱いて、ひとばん じゅうそと た
一晩中外に立っていました。

キム : たいへん め あ つら
大変な目に遭いましたね。辛かったですよ。

ラビン: ええ、もうだめかと思おも っ いました。もし、あんな じしん にほん おき ばあい
地震が日本で起きた場合、どうし
たらいいんでしょうか。にほん ご 日本語ができないし、とてもしんぱい
心配です。

キム : がいこくじん 外国人のためにいろいろなことば せいかつ じょうほう つた
言葉で生活情報を伝えているセンターがあります。
さいがい おき 避難場所やそのほかの じょうほう おし
災害が起きたときの避難場所やその他の情報を教えてくださいよ。

ラビン: そうですね、しら 調べてみます。

キム : わたし みず ひじょうしょく か お ひなんよう
私は水や非常食を買って、置いています。避難用のかばんもあります。

ラビン: そうですね。さつ も だ 持ち出せるように、ひつよう もの つ
必要な物を詰めておくといいですね。

キム : それから、じしん おき 地震が起きたときにどうするか、かぞく はな あ
家族で話し合っておいたほうがいい
ですよ。

ラビン: なるほど、そうしておけば、あんしん
安心ですね。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話と合っている文に○、合っていない文に×を書きましょう。

1. () きのう ゆうがた じしん
昨日の夕方、地震がありました。
2. () じしん
地震のとき、キムさんとラビンさんはエレベーターを待っていました。
3. () ことば せいかつ じょうほう つた
いろいろな言葉で生活の情報を伝えているセンターがあります。
4. () みず ひじょうしょく いえ お
ラビンさんは水と非常食を家に置いています。
5. () じしん
キムさんは地震のときどうするか家族で話し合っておくことを勧めました。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

キムさんとラビンさんは、きのうのゆうがた、じしんがあったときのことはなしていません。そのとき、ラビンさんはちょうどエレベーターをまっていた。ラビンさんはとてもこわかったといっています。そして、なんねんかまえにネパールでおきた、おおきいじしんのことをおもいだしました。ラビンさんは、よしんでいえがくずれるのがこわくて、いえのそとにでました。そとはあめがふっていましたが、それでも、つまとふたりでこどもたちをだいて、ひとばんじゅうそとにたっていたそうです。

ラビンさんは、もし、ネパールでおきたようなじしんがにほんでおきたらあい、どうしたらいいかとしんぱいしています。キムさんは、がいこくじんのためにいろいろなことばでせいかつじょうほうをつたえているセンターがあること、さいがいがおきたときのひなんばしよなどのじょうほうをおしえてくれることをつたえました。キムさんは、みずやひじょうしよくをかっておいておいたり、ひなんようのかばんをじゅんびしたりしているそうで、ラビンさんにもすすめました。それで、ラビンさんは、ひつようなものをかばんにつめておこうとおもいました。それから、キムさんは、じしんがおきたときにどうするか、かぞくではなしあっておいたほうがいいとつたえました。

1. きのうの夕方、地震が起きたとき、ラビンさんは何をしていましたか。

2. ラビンさんは、どうして一晩中子どもを抱いて外に立っていたのですか。

3. キムさんは、地震が起きたときのために、どんな準備をしていますか。

☆漢字を使って、文を書き直しましょう。

つか
〈使ってみよう〉

れい み ぶん つく
☆例を見て、文を作りましょう。

い
1. そうですね

れい きのう じしん こわ
例 A: 昨日の地震は怖かったですね。

ほんとう い おお じしん
B: ええ、本当に。そうですね、ネパールでも大きい地震がありましたね。

きのう えき ちか か じ
A: 昨日、駅の近くで、火事があったそうです。

B: そうですね、_____。

ばあい
2. ~場合

れい じしん お ばあい
例 地震が起きた場合、どうしたらいいですか。

ばあい

場合、_____。

3. ~ておく

れい じしん こま みず ひじょうしょく つ
例 地震のとき、困らないように、かばんに水や非常食を詰めておきます。

_____ように、_____しておきます。

〈インタビューしよう〉

ともだち まわ ひと しつもん かんが
☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

にほん じしん さいがい おお
1. 日本では、地震のほかにどんな災害が多いですか。

さいがい お じゅんび
2. 災害が起きたときのために、準備していることがありますか。

さいがい お ひなん
3. 災害が起きたとき、どこに避難すればいいですか。

4.

5.

か
〈書いてみよう〉

しつもん こた じ ぶん か
☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。